

第72回 信越アマチュア局非常通信コンテスト

【略称：JAφ-OSOコンテスト】

※この形式で実施するOSOコンテストは今回をもって終了といたします。
次年度以降、形式を変更して開催予定です。

- 【開催日時】 2025年4月12日(土)21:00～4月13日(日)12:00 JST時報まで
- 【参加資格】 JAφエリア在住の同エリア内で運用するアマチュア局（ゲストオペでの運用は不可）
コンテスト参加中の同一県内での範囲で移動を認める（下記注意事項参照）
- 【電波型式・周波数・空中線電力など】 各局に許可されている範囲内（135,475kHz, 3.8/10/18/24MHz 帯
およびレピータ、衛星通信、VoIP、遠隔操作局は使用不可）でJARLコンテスト使用周波数帯
総務省告示のアマチュアバンド使用区分を厳守のこと
- 【参加種目およびコードナンバー】

参加種目	コードナンバー
長野県 個人局	NNS
長野県 社団局	NNC
新潟県 個人局	NIS
新潟県 社団局	NIC

- 【通信電文】 ①電文は3種類以上用意し、同一電文を続けて使用しない
②電文の字数はクンレンを含め15～20字とする
③電文はカタカナを使用し、濁点・半濁点は字数に数えない
（数字使用可、アルファベットは使用しないこと）
④非常事態と誤解される恐れのあるまぎらわしい電文は使用しない
⑤和文通話表を用い正確に伝えることが望ましい
- 【交信方法】 ①呼び出し 電信=CQ JAφ TEST 電話=CQ JAφ コンテスト
②電文の送受 送信開始時刻・コンテストナンバー・電文・送信終了時刻
を送り、同様に相手からも受け、指定のログに記載する
- 【コンテストナンバー】
RS(T)+001から始まる一連番号（全バンドを通じての一連番号）
- 【得点】 ①同一局との交信はバンドが変われば有効
②完全な交信に対して1交信を10点とする（採点では送信5点受信5点とする）
③相互のログの照合ができなかった交信については5点減点とする
④交換した通報のなかに誤字脱字などのミスがあった場合は交信両局の連帯責任として
それぞれ1字につき1点減点、但し5字以上のミスがあった場合その通信は無効とする
⑤通信時刻（開始）、コンテストナンバー、通信時刻（終了）及びサマリーシートも
採点対象とする
⑥総合得点で同点の場合は最終の通信時刻（終了）が早い者を上位とする
⑦その他、減点の詳細については委員会 web にある採点基準を参照してください。
- 【報告書の提出】
- ① 様式は下記のものとする
サマリーシート：A4サイズの最新様式「コンテスト用紙」または同形式を使用
コンテストログ：JARL信越地方本部コンテスト委員会 web にある指定書式のログシートを
使用する事。（これと同形式であれば自作でも構わない）
尚、webの参照が出来ない場合は当委員会へSASE等で問い合わせてください。
- ②通信時刻（開始）欄にはその電文の送信開始時刻を、（終了）欄にはその電文の送信終了時刻を
24時間制で記入する
- ③ログへの記載は交信時刻順に記載し、呼出欄には自局の送信電文行だけに○印を記入する
（個人局はバンドにかかわらず交信順に、社団局はログ用紙をバンド別にする）
- ④コンテストナンバーはログのRST欄に記入する
- ⑤ログ記入時「//」等の記号による省略はせず1交信ごとに必要事項をすべて記入する
- ⑥使用電波の欄には各交信ごとに記入する

- ⑦電文は備考欄に記入する
- ⑧すべてのログ用紙欄外に自局コールサインを明記する
- ⑨**信越管内**の各登録クラブに加入している個人局**ならびに**社団局**1局**はサマリーシートの登録クラブ対抗の欄に必要事項を記載することにより、クラブ対抗へのエントリーとする
- ⑩電子メールでの提出は、Word, Excel もしくはPDF の添付ファイルによるものとする
(印刷して指定様式になることが条件)
サマリーシートの署名欄には必ず氏名が明記されていること (自署の必要はありません)

e-mail : j a 0 c o n t e s t @ g m a i l . c o m

※From アドレスが「jarl.com」で送付されると迷惑メールとして扱われる可能性がありますので使用しないでください。

- ⑪締切 **2025**年4月**28**日(月) 消印有効(郵便以外の方法の場合4月**29**日必着)
- ⑫提出先 〒943-0648 上越市牧区小川2176 西山 浩平方OSO係
- ⑬書類受付局リストをコンテスト委員会HPに順次掲載いたしますので、締切を過ぎても掲載されない場合はコンテスト委員会までお問い合わせください。
- ⑭結果公表後に自身の減点内容を知りたい場合には、長3封筒へ返送先の住所を記入し、**110**円切手を貼ったSASEもしくは電子メールにてコンテスト委員会までお問い合わせください。

【審査】

JARL信越地方本部コンテスト委員会が行う

【発表】

順位は各県の支部大会、JARL NEWSおよびコンテスト委員会HP上で発表

【表彰】

- ①両県を通じて最高得点の個人局には「信越総合通信局長賞」を贈呈(予定)
- ②個人局・・・各県毎上位局に賞状
- ③社団局・・・各県毎上位局に賞状
その他、各県支部で定めるところにより、賞品を授与
- ⑤両県内登録クラブ対抗・・・県別上位クラブに賞状
- ⑥ジュニア部門・・・平成**19**年4月2日以降に生まれた方はサマリーシートの意見欄に「ジュニア部門」と記載して生年月日を記入すること。各県毎上位局に賞状
- ⑦委員会の裁量により委員会特別賞(賞状)

【注意事項】

- ①アマチュアバンド使用区分及びコンテスト周波数に従って運用し呼出周波数はコンテストナンバー交換には使用しない
- ②コンテスト参加途中での同一県内の範囲で移動を認める。サマリーシートには移動地を列記する(ログには個別の移動地記入不要)
(ただし、常置場所での運用と移動運用の両方を行なった場合、各交信の常置場所/移動運用の区別ができるよう明記すること(サマリーに、常置場所での運用開始/終了時刻を記載等)
なお、この場合の、サマリーのコールサイン欄への「/φ」は記入不要で統一します。)
- ③移動運用時は、自局のコールサインに移動をしている旨(/φ)を付加して送出すること
- ④中継による交信やレピータ、衛星通信、VoIPによる交信、クロスバンドによる交信は無効
- ⑤移動して運用する場合は放送及び他の通信に障害の恐れがある場所は避けること
~~尚、新潟県弥彦山での運用は禁止(JARL新潟県支部HP参照)~~
- ⑥電波法の規定ならびに本コンテスト規約に違反した者および虚偽の報告があった者は失格
- ⑦クラスタ等の利用については本部コンテスト規約に準ずるが、自己で情報をUpするいわゆる「セルフスポット」については禁止する。
また、コンテスト終了時以降に自局の運用状況(参加記等)をblog等へ掲載する行為については特に禁止はしない。但し、参加者の結果に影響を及ぼす様な内容(自局のコンテストNR等)についてはログ提出締め切りまで禁止する。
- ⑧電子メールによるサマリー及びログの提出については1メールにつき1局分のみとし、複数局分をまとめて送信しないでください。委員会の判断で虚偽報告として失格となる場合があります。
- ⑨デジタル呼出周波数でのアナログによる交信は避ける様にしてください。
- ⑩IQSOでも交信した場合にはログの提出をお願いします。あなたのログが確認できない場合、交信相手の得点も減点されてしまいます。
- ⑪その他、本規約に記載されている以外の事項についてはJARLコンテスト規程及びJARL本部主催の各コンテスト(ALLJAコンテスト他)の注意事項等に記載の内容を基に信越地方本部コンテスト委員会が失格等の審査判定をする。
※お問い合わせはSASEで前記提出先へ

または電子メールにて下記のアドレスまでお問い合わせください
 E-mail: zerocontest@jarl.com

信越地方本部コンテスト委員会のHP
 (URL) <http://www.jarl.com/zerocontest/>

<ログ記入例>

2013 年 コールサイン JROBAQ/0 No. 1/1

月	日	通信時刻 (開始)	通信時刻 (終了)	相手局コールサイン	呼出	応答	RST		使用電波			備考(電文)	QSLカード	
							相手局	自局	型式	周波数	空中線電力		発送	受取
4	13	21:14	21:15	JFOKYK/0	○		59	001	FM	144	20	クンレンレキシノイチバンフルイコンテスト		
4	13	21:15	21:16				59	003				クンレンアンコハヤツバリツブアンダ		
4	13	21:17	21:17	JJONNX			59	004	FM	144	20	クンレンオカエリナサイマセゴシユジンサマ		
4	13	21:17	21:18		○		59	002				クンレンソナエアレパウレイナン		

↑
|
↑
|
↑
|

使用電波欄は自局による送信の都度記入
 自局が電文送信をした行に○印を付ける(「呼出」を「送信」と読替える)
 時刻は順を追って(送信が先になったり受信が先になったりしますが、交信時刻順に記入)
 ※〃などの記号による省略はせずに記入すること